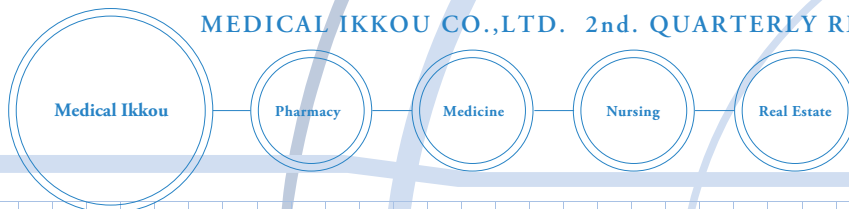


第25期 中間事業報告書

2009年3月1日 ▶ 2009年8月31日

株式会社メディカルー光

MEDICAL IKKOU CO.,LTD. 2nd. QUARTERLY REPORT



01

基本方針

Basic Principles

メディカルー光グループは、

「良質の医療・介護サービスをより多くの人に提供する」

という理念の下、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。



調剤薬局事業

Pharmacy

医薬品卸事業

Medicine

ヘルスケア事業

Nursing

不動産事業

Real Estate



代表取締役社長 南野 利久

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第25期第2四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年8月31日)の営業の概況等をご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、失業率が過去最高を記録するなど、低調な個人消費と相まって景気の底打ちが感じられない不透明な状況が続きました。

このような厳しい経営環境のなか、当社は平成16年11月の株式公開からまもなく丸5年の節目を迎えます。公開当時(平成16年2月期)に77億円でありました売上高は、前期末(平成21年2月期)で160億円となりました。同様に経常利益は2億79百万円から6億72百万円となり、増収増益を続けております。当第2四半期連結累計期間は、コア事業である調剤薬局事業の売上増加が図れたことに加えて、医薬品卸事業・ヘルスケア事業・不動産事業とも業績が堅調に推移したことにより、通期での連続増収増益の達成に向けて順調に折り返すことができました。

当社が展開する医療・介護分野は、急速な高齢社会の進展により、多様なニーズが見込まれる成長産業として最も注目されています。主たる調剤薬局事業におきましては、効率的な店舗運営の推進に加えて、M&Aを含めた規模拡大を積極的に図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月

業績推移

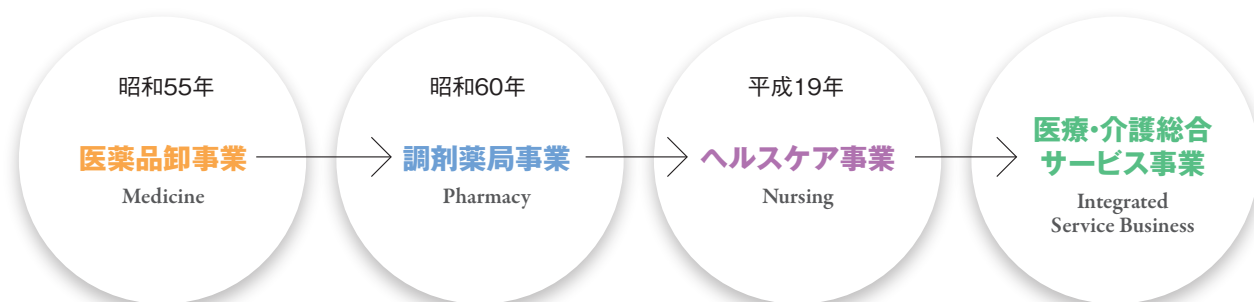
(単位：千円)

	売上高	経常利益
平成16年2月期	7,709,627	279,699
平成17年2月期	9,270,274	308,641
平成18年2月期	10,557,650	366,774
平成19年2月期	12,362,406	395,692
平成20年2月期	14,662,551	639,716
平成21年2月期	16,068,897	672,013

平成21年2月期 (中間)	7,937,118	258,502
平成22年2月期 (中間)	8,528,522	413,975

当社は調剤薬局事業、医薬品卸事業、ヘルスケア事業、不動産事業を推進しています。

医療と介護のシナジーを追求した事業体制の構築に向けて、さらなる事業規模の拡大を図ってまいります。



医薬品卸事業

医療制度改革として使用促進が織り込まれたジェネリック医薬品を販売しています。



調剤薬局事業

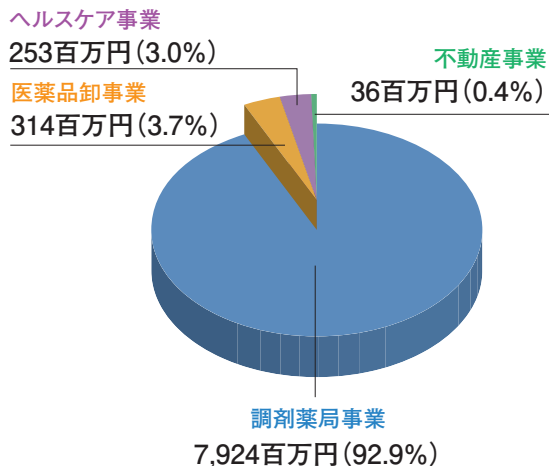
収益性を重視した新規出店およびM&Aにより、規模の拡大を図っています。



ヘルスケア事業

超高齢社会の到来により、需要が増加する有料老人ホームの運営を行っています。

セグメント別売上高



当第2四半期の連結業績は、コア事業である調剤薬局事業の売上増加が図れたことに加え、医薬品卸事業、ヘルスケア事業、不動産事業とも業績が堅調に推移したことから、売上高8,528百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益470百万円（前年同期比47.7%増）、経常利益413百万円（前年同期比60.1%増）、四半期純利益201百万円（前年同期比67.9%増）となり、増収増益となりました。

調剤薬局事業は、既存店舗が順調に推移したことから、売上高7,924百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益599百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

医薬品卸事業は、ジェネリック医薬品の使用促進が進められるなかで、売上高406百万円（前年同期比16.7%増、内部売上高を含む）、営業利益21百万円（前年同期比81.0%増）となりました。

ヘルスケア事業は、昨年12月に運営を開始した介護施設も計画通り推移したことから、売上高253百万円（前年同期比26.2%増）、営業利益39百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

不動産事業は、計画通りに推移した結果、売上高36百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益19百万円（前年同期比56.8%増）となりました。

(注) 前年同期比増減率は参考として記載しております。

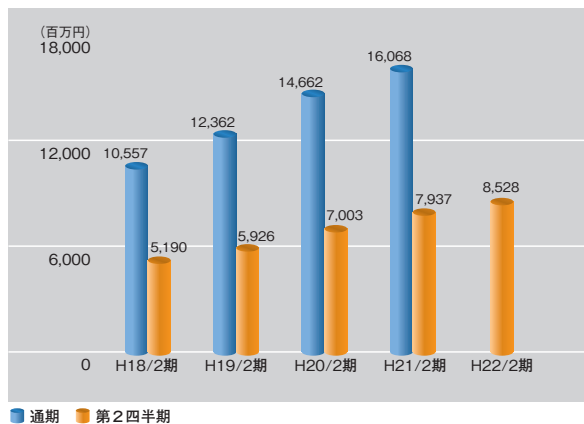
● 月別売上実績（連結）

(単位:百万円)

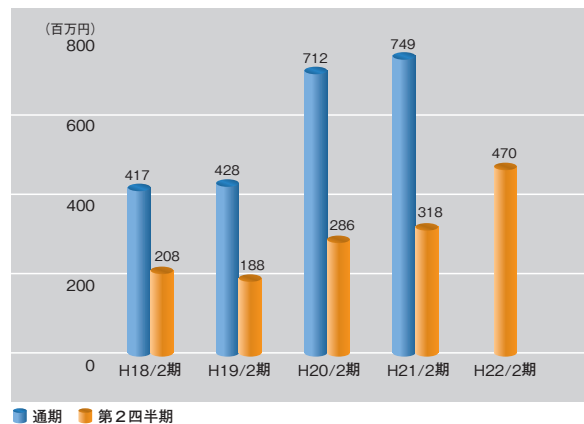
	3	4	5	第1四半期計	6	7	8	第2四半期計	9	10	11	第3四半期計	12	1	2	通期計
第24期	1,345	1,360	1,311	4,017 (130)	1,271	1,368	1,279	7,937 (258)	1,307	1,413	1,269	11,927 (449)	1,481	1,353	1,305	16,068 (672)
第25期	1,461	1,466	1,350	4,278 (223)	1,392	1,457	1,399	8,528 (413)								

※各四半期計の下端（ ）内は経常利益

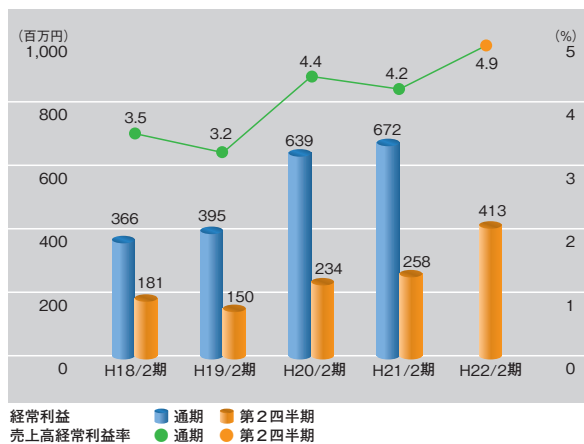
売上高



営業利益

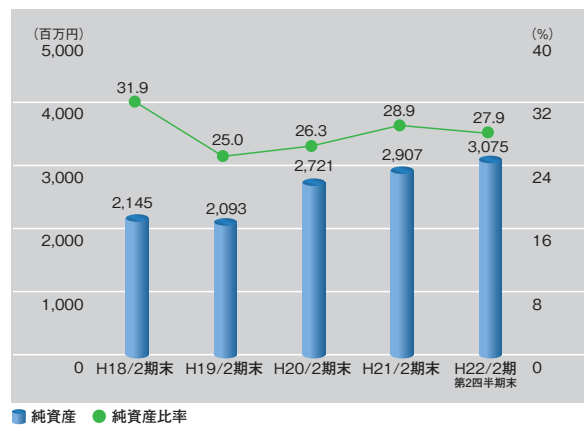


経常利益・売上高経常利益率



● H18.2月期は単体ベースで表示されています。

純資産・純資産比率



四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成21年8月31日現在	前期末 平成21年2月28日現在
資産の部		
流動資産	4,687	3,946
現金及び預金	2,015	1,435
売掛金	1,839	1,715
商品	686	676
その他	147	120
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	6,342	6,100
有形固定資産	4,296	4,072
建物及び構築物	2,444	2,248
土地	1,705	1,698
その他	146	125
無形固定資産	1,107	1,069
投資その他の資産	938	958
資産合計	11,030	10,047
負債の部		
流動負債	4,561	3,912
買掛金	2,335	2,123
短期借入金	30	30
1年内返済予定の長期借入金	1,699	1,324
その他	496	434
固定負債	3,393	3,227
長期借入金	3,030	2,876
その他	362	351
負債合計	7,954	7,139
純資産の部		
株主資本	3,060	2,904
資本金	917	917
資本剰余金	837	837
利益剰余金	1,457	1,303
自己株式	△ 151	△ 153
評価・換算差額等	14	2
その他有価証券評価差額金	14	2
純資産合計	3,075	2,907
負債・純資産合計	11,030	10,047

● 純資産合計は、前期末と比較して167百万円増加しました。主に、四半期純利益201百万円によるものです。この結果、自己資本比率は27.9%となりました。

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで	前第2四半期 平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで
売上高	8,528	7,937
売上原価	7,608	7,158
売上総利益	920	778
販売費及び一般管理費	450	460
営業利益	470	318
営業外収益	4	5
営業外費用	61	65
経常利益	413	258
特別利益	0	—
特別損失	18	2
税金等調整前四半期純利益	396	255
法人税、住民税及び事業税	209	141
法人税等調整額	△ 14	△ 6
四半期純利益	201	120

- 売上高の増加は、調剤薬局事業(前第2四半期比498百万円増)が寄与しており、他の事業においても堅調に推移したことによるものです。
- 四半期純利益は、前第2四半期比81百万円増加し、201百万円を計上しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成21年3月1日から 平成21年8月31日まで	前第2四半期 平成20年3月1日から 平成20年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	478	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	△ 102
財務活動によるキャッシュ・フロー	196	△ 388
現金及び現金同等物の増減額	580	△ 311
現金及び現金同等物の期首残高	1,428	1,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,008	1,557

- 営業活動により得られた資金は478百万円となりました。主に、税金等調整前四半期純利益396百万円、仕入債務の増加211百万円の他に、売上債権の増加123百万円によるものです。
- 投資活動により使用した資金は94百万円となりました。薬局店舗とヘルスケア事業への投資によるものです。
- 財務活動により得られた資金は196百万円となりました。長期借入金の増加242百万円によるものです。

財務諸表作成にあたって

当連結会計年度より、四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前第2四半期については参考として記載しています。

会社概要 (2009年8月31日現在)

商号	株式会社メディカルー光
設立	昭和60年4月17日
本社所在地	三重県津市藤方501番地の62 059 (226) 1193 (代表)
資本金	9億1,700万円
従業員数	631名 (グループ総数)
事業内容	調剤薬局事業 / 医薬品卸事業 / ヘルスケア事業 / 不動産事業

役員 (2009年8月31日現在)

代表取締役社長	南野利久	取締役	安達佳之
代表取締役副社長	西井文平	取締役	澤宏紀
代表取締役専務	黒田一善	取締役	玉泉広子
取締役	大西登志和	常勤監査役	柴高 旦
取締役	櫻井利治	監査役	船江一彦
取締役	廣枝了三	監査役	江口博明
		監査役	酒谷宜幸

株式の状況 (2009年8月31日現在)

1. 発行可能株式総数	30,000株
2. 発行済株式の総数	10,175株
3. 株主数	515名

大株主 (2009年8月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	2,550	25.06
株式会社リオ	971	9.54
南野利久	906	8.90
ハウス食品株式会社	900	8.84
株式会社メディカルー光 (自己株式)	478	4.69
メディカルー光従業員持株会	476	4.67
個人株主	400	3.93
沢井製薬株式会社	350	3.43
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTHERN TRUST GUERNSEY NON TREATY CLIENTS	319	3.13
株式会社山陰合同銀行	250	2.45

株主メモ

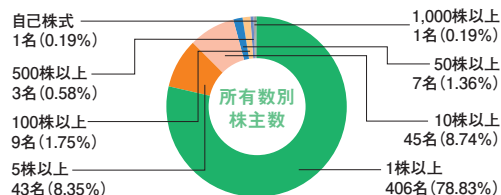
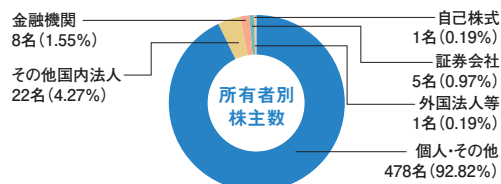
事業年度	3月1日から翌年2月末日
定時株主総会	5月
基準日	2月末日 (その他必要があるときは予め公告いたします)

期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
株主名簿管理人	株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 (お問合せ先) ☎ 0120-255-100

http://www.daiko-sb.co.jp/
電子公告
http://www.m-ikkou.co.jp/

ただし、電子公告を行うことができない場合、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

証券コード 3353



株式会社メディカルー光